

花きの県別生産出荷概況(6月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	4月出荷見込み 千本		主産地	4月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
バラ	青森県	2.23 (98%)		100 (99%)	70 (99%)	つがる市 南部町	25	35	40
	栃木県	12 (94%)	ローテローゼ レッドスター ノブレス	700 (95%)	600 (95%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	30	40	30
	群馬県	20.1 (100%)	ローテローゼ、マレーラ ティネケ ノブレス ビビアン マイガール	990 (100%)	705 (100%)	前橋市 利根沼田 甘楽富岡	35	35	30
	千葉県	3.6 (100%)	サムライ ザ・テレサ ローテローゼ ノブレス	155 (100%)	125 (100%)	鴨川市 南房総市	30	40	30
	山梨県	4.1 (91%)	ローテローゼ サムライ	350 (97%)	330 (100%)	笛吹市 (御坂町)	40	30	30
	大分県	8	Jシリーズ レットスター グラシア ローテロー	520	300	大分玖珠 九重飯田	30	40	40
アルストロメリア	青森県	1.79 (100%)	イーグル	145 (100%)	100 (99%)	藤崎町	30	25	45
	山形県	9.4 (92%)	レベッカ レモン オルガ アバランジェ メイフェア、エベレスト	564 (96%)	219 (92%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	45	30	25
ひまわり	青森県	2.86 (103%)		180 (102%)	160 (101%)		10	20	70
	千葉県	18 (100%)	リッチオレンジ	1,800 (100%)	1190 (100%)	館山市 南房総市(丸山)	33	33	33
カスミソウ	熊本県	49.8 (101%)	アルタイル系 ベール系	509 (132%)	243 (69%)	菊池 熊本うき あまくさ	48	36	16
カラー	千葉県	1.0 (75%)	クリスタル ガーネット	280 (75%)	100 (75%)	芝山町	50	30	20

輪菊	青森県	14.3 (102%)		40 (102%)	20 (102%)	五所川原 三戸町	10		50
	栃木県	39 (99%)	神馬 精興光玉 精の一世	1,200 (100%)	180 (100%)	大田原 小山 真岡 塩谷	40	30	30
	長野県		日輪 松風(夢・夏) サマーイエロー スーパーイエロー 千穂、紅久	200 (135%)	140 (135%)	佐久 諏訪	5	30	65
	山梨県	4.1 (100%)	スーパーイエロー	13 (100%)	10 (100%)	笛吹市 (八代市)	80	10	10

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	1番花がほぼ終了し2番花の出荷までの谷間。生育は概ね順調で昨年並み。	現状 母の日の過ぎ、大きな需要もなく低調な取引が続く。冬場休眠していた高冷地の出荷がピークを迎えている。西南暖地は改植が進んでいるものの潤沢な入荷となっている。
	震災の低温被害から回復傾向にあるが、出荷量は引き続き前年を割り込む見込み。	見通し
	生育は順調で、品質は概ね良好。平年並みの出荷を予定。	大田花き 婚礼需要は多少見込めるものの、多くはない。父の日需要で黄色系中心に引き合いある見込み。山形、長野、大分等の高冷地主体の入荷となる見込み。
	生育・品質とも良好。6月下旬から一部夏季剪定が始まる見込み。梅雨時期の湿度管理、病害虫発生抑制に努めている。	FAJ 西南暖地は改植で入荷減。高冷地中心の出荷になる。業務中心。弱保合相場の見込み。 第一花き 産地の切り替わりのため、品質による単価差はでる。需要は少なく厳しい販売。
	アブラムシ、コナジラミ類の発生が多い。	世田谷花き 改植も進み、入荷量も横ばい。高冷地が順調に増えてくる見込み。 東日本板橋花き 特にこれといった需要は無く、入荷量も増える為、厳しい相場展開になる見込み。
	大分県内でも標高が450m～800mのメルヘンローズ及び九重飯田の出荷が中心となる。数量もまとまった出荷体制が取れる見込み。	
アルストロメリア	低日照から葉芽の発生が多く、継続的に収穫してきた品種の出荷量が、やや少ない。6月ピーク見込み。また、病害虫の発生は少ない。	現状 4月～5月上旬にかけて、昨年を越える入荷量となり各産地から潤沢な入荷となった。母の日の需要から相場は上がったものの、それ以降は天候不順、気温の上昇から需要が少なく相場は低迷した。各産地本格的に改植に入り、徐々に数量は減少し始めているが、落ち着いた取引となった。
	改植が行われており、出荷量は減少傾向。切り花品質は良好。	見通し 主産地の愛知・山形・北海道は改植に入っているため、5月よりは品種数は少なくなる見込み。 大田花き 愛知はオレンジ、赤系は減少し、山形・北海道はピンク、白中心となり黄・紫系は少なくなる見込み。380,000本 @55 第一花き 日持ちも良くない時期で入荷も減少し産地間による単価差はでる。
ひまわり	生育は概ね順調。ほぼ前年並みの出荷見込み。	現状 千葉、静岡、愛知などの出荷が続いている。中旬より北海道産の出荷が開始。徐々に数量が増加する。取引に関しては、季節商材として夏の花としての利用が大きく、需要が伸びている。
	3～4月の降水が少なく、生育・品質とともに良好。安定した出荷量が見込める。サンリッチオレンジが6割。定番の黄色、黒芯の品種が8割以上。	見通し 大田花き 6月19日の父の日に向け、各産地数量が増えてくる。引き合いに関しては堅調な取引になると見込まれる。
カスミソウ	一部産地で害虫が散見されるが品質問題なし。遅れなく、各産地6月上旬から順次出荷終了し、6月下旬終了予定。	現状 九州方面は各産地ピークを終え、徐々に減少傾向。販売面は母の日までは活発な取引となったが、それ以降は安定した取引となった。 見通し 大田花き 福島の出荷が遅れており、6月の中、下旬より徐々に数量まとまる見込み。販売状況としては大きな需要も無く安定した取引となる見込み。
カラ	生育順調。クリスタル、ガーネットが主力品種。レモン、サニーエローなどを月前半に出荷予定。クリスタルクリアは上中旬を中心に出荷予定。昨年より若干カットが大きめに生育。	現状 千葉、愛知共に湿地性カラーが大きく減少。ミニカラーはクリスタルブラッシュ中心の入荷。福島県のサンライトは昨年より減少し、連休明けから出荷スタート。シロカラー減少により、品薄単価高となっている状況。 見通し 大田花き シロカラーに関しては、数量が大きく減少し、北海道、福島が主力となる。中旬以降、福島県よりハイブリット系の色物カラーの入荷見込あり。数量23,500本@78

輪 菊	生育は概ね平年並みで、育苗・定植作業は順調に進んでいる。病害虫の発生もほとんどみられない。	現 状	白菊は、愛知、福岡他、周年産地メインで上位等級中心の入荷。ゴールデンウィーク、母の日向けで小売り仏花需要の動きは見られたものの、1ヵ月を通し需要を供給が上回る状態。厳しい販売が続く。色菊は上旬まで沖縄がメイン、中下旬になるにしがいが沖縄が減少、愛知、静岡他、周年産地中心の入荷。母の日までは、小売り仏花需要に支えられ安定単価にて推移、その後は落ち着いたものとなる。
	6月までは白系「神馬」、黄系「光玉」が中心。出荷量は前年並みとなる見込み。震災時の停電や計画停電による夜間の低温の影響で開花にバラつきがでている。	見通し	白菊、色菊ともに、周年産地中心の入荷。秋冬系品種の入荷量は、日を追うごとに減少、夏系品種が増加見込み。周年産地は、中下旬で数量が逆転しお客様の品種切り替えも進む予定。出荷数量は落ち着くが、大きな需要も見込めないことから厳しい相場展開を見込む。
	総体作付面積は微減。6月施設物がやや生育遅れではあるが今のところほぼ例年並みの進度。	大田花き	冬菊から夏菊へ品種移り変わる。白は岩の白扇、精の一世中心になる。
	生育順調。	第一花き	品種の切り替わりの時期で厳しい販売。